

編みつける口金(くし形)の AMU-709 松編みのがま口



<2020S/S>



デザイン/ ハマナカ企画

☆でき上がり寸法 深さ約13cm、幅約13cm

☆使用糸 エコアンダリヤ (40g玉巻)

使用糸	使用量
からし (No.139)	0.7玉

☆副資材
・編みつける口金(くし形)
(H207-022-4/アンティーク) ...1組

☆使用針
ハマナカアミアミ片かぎ針7/0号
毛糸とじ針(H250-706)6本1組

ゲージ

模様編み3模様が10cm
4段が4.5cm

編みつける口金
プロセス基礎

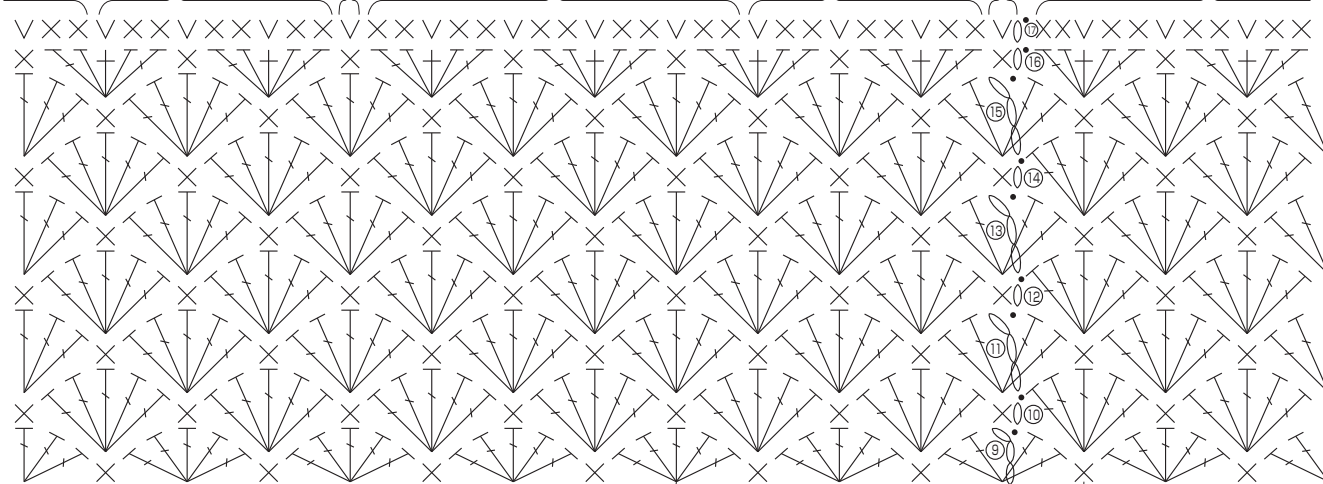


〈編み方〉

糸は1本どりで図のように編みます。
わの作り目で編み始め、細編みと模様編みで編みます。
最終段は口金も一緒に拾いながら編みます。

本体

編み地と口金の◎を一緒に12目拾う 編み地のみ2目拾う 編み地と口金の★を一緒に18目拾う 編み地と口金の☆を一緒に12目拾う 編み地のみ2目拾う 編み地と口金の●を一緒に18目拾う



(模様編み)
1模様

× = 細編み

∨ = 細編み2目編み入れる

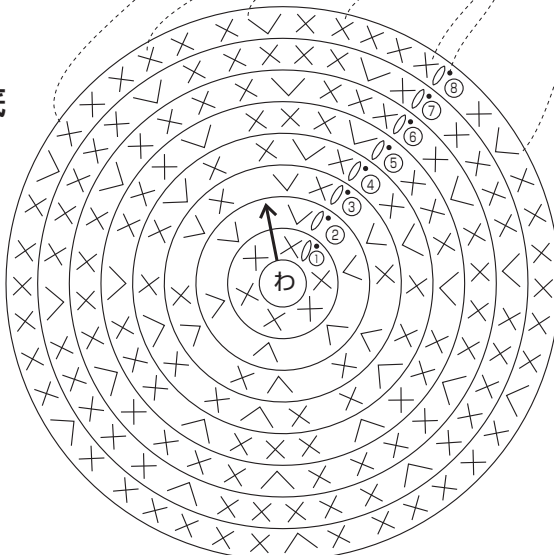


= 長編み5目編み入れる



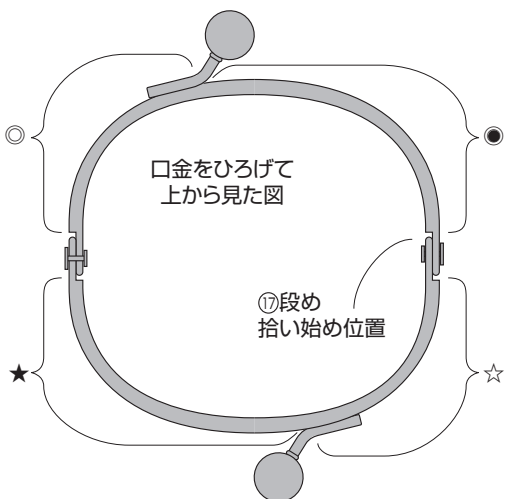
= 1目に長編み・中長編み・細編み・中長編み・長編みを編み入れる

底

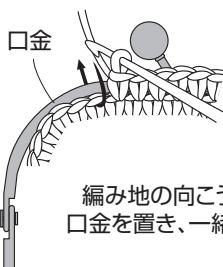


段	目数	増減
⑰	64目	図参照
⑮	8模様	増減なし
⑭		
⑩		
⑨	8模様拾う	
⑧	48目	毎段6目増
⑦	42目	
⑥	36目	
⑤	30目	
④	24目	
③	18目	
②	12目	
①	わの作り目から細編み6目拾う	

〈口金の拾い位置〉



〈口金の拾い方〉



蝶番部分は
編み地のみ拾い
口金には編み
つけない

編み地の向こう側に
口金を置き、一緒に拾う

〈でき上がり図〉

